QI活動報告

2024年度

気管支鏡検査に関するIC
看護師同席率

NICU 👶 GCU

＜背景＞

NICU・GCUでは、気管支鏡検査を年間150例以上実施している。

一部の症例では患者家族の理解・検査の同意が得られず、検査を実施できず治療方針に難渋することがある。

そのためIC時に看護師同席を行い、患者家族の理解や不安の軽減となる支援が重要であると考えている。

＜目的＞

病状説明における患者家族の理解度を高め、家族が児にとってより良い医療を選択できる

＜取り組みの目標＞

PDCAサイクル　P

気管支鏡検査に関するICにおいて、
看護師IC同席率が100%となる

＜方法＞

PDCAサイクル　D 

①IC記録の統一/継続
②IC同席する目的の共有（IC後の家族の反応や意思確認など）
③IC時の看護師同席の周知

…IC実施時に医師、看護師がお互いへ声かけ実施
…ICに同席できなかった場合：IC終了後、患者家族に内容理解の確認を行う。その行為を同席に準ずるものとした。

④IC同席率向上の意識となるよう、多職種カンファレンス時に声かけを実施

…毎月の第一週水曜日の多職種カンファレンス時

＜結果＞

PDCAサイクル A 

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
BF数	19		20		7		7		14		6		9		8		8	
新規検査前IC数	14		5		2		5		6		0		3		2		2	
医師 検査前IC記録数	12	86%	5	100%	1	50%	5	100%	6	100%	0	0%	3	100%	2	100%	2	100%
看護師 検査前IC記録数	13	93%	5	100%	2	100%	3	60%	4	67%	0	0%	3	100%	2	100%	2	100%
医師 検査後IC記録数	17	89%	11	55%	6	86%	6	86%	9	64%	6	100%	7	78%	6	75%	7	88%
看護師 検査後IC記録数	18	95%	10	50%	5	71%	7	100%	10	71%	5	83%	8	89%	8	100%	6	75%

＜結果＞

PDCAサイクル　C → A

検査前のIC

10月より、取り組みを強化した

4～9月		
合計	32件	
医師記録数	29件	91%
看護師記録数	27件	84%

10～12月		
合計	7件	
医師記録数	7件	**100%↑**
看護師記録数	7件	**100%↑**

＜結果＞

PDCAサイクル C → A

検査後のIC

10月より、取り組みを強化した

4～9月		
合計	73件	
医師記録数	55件	75%
看護師記録数	55件	75%

10～12月		
合計	25件	
医師記録数	20件	**80%↑**
看護師記録数	22件	**88%↑**

＜考察＞

PDCAサイクル　A

◍取り組み強化後の10月以降とそれ以前を比較すると、

IC同席率がUpしていた

検査前ICは最も重要な医療提供の1つであると、医師・看護師ともに共通認識あり

◍医師・看護師 IC記録の記載漏れがあり、看護師同席率100%達成ならず

検査前ICにおいては100%達成していたが、検査後IC記録の意識が低い

＜まとめ＞

- IC同席率100%・記録率100%となるよう、声かけ・監査を継続していく。

- 患児・家族が安心した検査・治療が受けられるように、医師と看護師で協働していく。